



5月の園だより

太陽の子保育園 平成27年5月号

吹く風が気持ちの良い季節になりました。幼児クラスのみんなでつくった園庭の鯉のぼりは子ども達に負けまいと元気に泳いでいます。

保護者の方は朝分かれる時、子どもに泣かれるとつい、心配になってしまうと思いますが、「お母さんもお仕事頑張ってくるからね。〇〇ちゃんも頑張ろうね。」と笑顔で預けて行って下さい。泣き顔が笑顔に変わるのももうすぐです。

園生活にも慣れて落ち着いた表情の子ども達ですが、緊張感がとけて疲れやすい時期でもあります。睡眠時間、朝ごはんをしっかりとって、元気に過ごしましょう。

5月の予定

- 1(金) こどもの日会
- 7(木) 体育指導[職員](幼児)
- 13(水) 音楽指導(幼児)
- 18~22 身体測定
- 18~22 職場体験(羽2)
- 19(火) 調理保育(らいおん)
- 20(水) 体育指導(幼児)
- 20(水) 職員園内研修
- 21(木) 保育参加・懇談会(くま)
- 22(金) お誕生日会
- 26(火) 避難訓練
- 27(水) 懇談会(ひよこ組)

6月の予定

- 2(火) 保育参加・懇談会(ばんだ)
- 3(水) 保護者懇談会(うさぎ)
- 4(木) 体育指導[職員]
- 5(金) 虫歯予防
- 9(火) 保護者懇談会(ぺんぎん)
- 9(火) 職員園内研修
- 10(水) 音楽指導(幼児)
- 15~19 身体測定
- 23(火) 避難訓練
- 25(木) 調理保育(くま)
- 26(金) 職員会議
- 26(金) お誕生日会
- 30(火) 体育指導(幼児)



表情はメッセージ

子育ての中では『感情の交流』はとっても大切。でも「感情を顔に出してはいけない」と、感情を抑えるくせがついていることもありますよね。

「子育て支援 ひだまり通信」高山静子著(チャイルド本社)より

表情を「顔」に出しましょう

小さいときに笑顔のメッセージを受けとった子は、自分に自信がもてます。新しい行動への意欲もぐんぐんわいてきます。わが子にも、よその子にも、『笑顔のメッセージ』をたくさん贈ってあげましょう！

1

赤ちゃんは、新しいことに会った → お母さんの表情を頼りにして、 → その表情を元に行動します。

2

小さな子は、喜びや驚きを感じるとお母さんに共感を求めます。

3

振り向いてもいつも知らん顔をされたり、お母さんの表情がわかりにくかったりすると顔を見なくなり、自分勝手に動くようになり、不安でお母さんから離れなくなったりすることもあります。

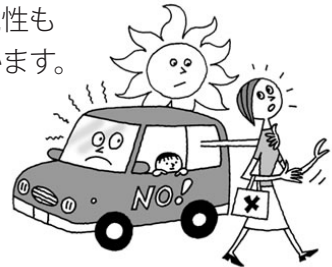
車内などへの幼児放置、こんなに危険…45度の車内、13分で熱中症

ぽかぽか陽気が心地よくなるこれからの季節は、止めた車の中に閉じ込められた子供が熱中症になる事故が起きやすい時期でもあります。

名古屋工業大の平田晃正准教授、金沢医科大学の佐々木洋主任教授らのグループのシミュレーション実験によると、屋外の気温が

20℃台後半でも、車内など密閉された空間では45℃に、気温が30℃を超えると50℃に上がることもあるそうです。さらに、自動車内など太陽光が差す気温45℃の環境に3歳児を放置した場合、わずか13分で熱中症(脱水症状)になる可能性も

あると警告しています。



熱中症になるまでの時間	温度	3歳児	大人
	45℃	13分	1時間以上
	40℃	17分	1時間以上

3歳児は発汗400g
大人は2kgで発症

「あなたの行動はOKよ！」
笑顔は「あなたは大事な子よ」
「あなたが大好きよ」

というメッセージです。



知ってるようで知らない!?

鯉のぼりの由来



もともと日本では、将軍に男の子が生まれると旗指物(家紋のついた旗)や幟(のぼり)を立てて祝う風習がありました。やがてこれが武家に広がり、男の子が生まれた印として幟を立てるようになります。

その後、江戸庶民の間で鯉の滝登りで立身出世のシンボルとなった鯉を幟にするアイデアが生まれ、武家の幟に対して、町人の間で鯉幟(こいのぼり)が揚げられるようになりました。当時は乳幼児の死亡率が高かったため、健やかな成長を祈る気持ちの表れでもあったのです。

江戸時代は和紙に鯉の絵を描いたものでしたが、大正時代に破れない綿の鯉のぼりとなり、昭和30年代に入ってから合成繊維の鯉のぼりが登場し、広く親しまれるようになりました。

。近年はベランダでも揚げられるタイプもあり、インテリア用の鯉のぼりも人気があります。また、鯉のぼりに五色の吹き流しには魔除けの意味が込められています。

